



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 田中 宏志 TEL288-7420

令和6年5月1日(水) NO.2

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粋さ ☆たゆみない向上心



「型を創る1学期」

校長 田中 宏志

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を頂き、本当にありがとうございます。

さて、今年のGWは分散型で、3日から後半の4連休が待っています。連休明け、7日(火)に生徒の皆さんが大きな事故やケガが無く登校してほしいと思っています。

さて、新学期が始まって約1ヶ月、新しい環境、新しい友達や先生との出会いに、緊張・不安・戸惑い、と様々な思いが入り混じるスタートだったと思います。他人の集まりである私たちが、安心してそれぞれの良さを発揮するためには、大切なことがいくつもあります。校長先生はその中の1つに、津幡南中学校で学ぶための「型」を創ることが大切だと考えています。

型があるから型破り。型がなければそれは形無し。(故 18代目 中村勘三郎)

この言葉は、歌舞伎役者である 故 中村 勘三郎 さんが、記者の質問に答えた言葉です。中村 勘三郎 さんは、歌舞伎を少しでも世に広めたいと、いろいろなアイデアを練って人々が楽しめる公演を行ったり、ニューヨークという異国の地で公演を行ったりするなど、歌舞伎の発展に尽力した人です。



歌舞伎とは、古くから日本に伝わる伝統芸能です。その伝統の中で、「中村勘三郎」という名跡を受け継ぐことは決して簡単なことではありません。幼いころから芸を受け継ぎ、その芸を磨き、一流の歌舞伎としての「型」を身につけたからこそ得られた地位なのだと思います。そして中村 勘三郎 さんは、身につけた「型」を基盤として歌舞伎の世界をもっと発展させるために、新しいことにチャレンジする道を選んだのです。このことから、校長先生は何かを成し遂げるとき、やはりその世界の「型」を身につけながら、その「型」を破ることが必要だということを感じました。

皆さんの学校生活の中で、1学期はまさにそれぞれの学年の「型」を身につけるときです。そして、2学期は身につけた「型」を破り、3学期で自分なりの「型」を持ち、自分らしさを持って次へ進むことが大切だと考えています。

中学校という「自分探しの旅」で自分のありたい姿を目指し、共に学ぶ仲間と切磋琢磨し、支え合いながら進むとき、しっかりとした「型」を持ちながら自分らしさを発揮できる個の力と集団の力をつけてほしいと、強く願っています。

【各学年の目標が決定しました！！】

(1年生) 三つの柱「努力」「挑戦」「考動」

(2年生) 「たがいを認め合う」～協力・礼儀・思いやり～

(3年生) 三挑「受験」「学校生活」「 」～終わりなき挑戦～



学年目標は、「こんな学年にしたい」という生徒の思いや願いを込めるとともに、他人の集まりである学年が「仲間」になるためのものです。だから、生徒の皆さんは、目標を達成するために、より具体的な行動の計画や振り返りをしていかなければなりません。

また、私たち教職員は、それぞれの学年の生徒の気持ちが一つになり、一人一人が活力ある学校生活が送れるよう保護者の皆さんと協力してバックアップしていきたいと考えています。

★生徒指導より★

【5月の生活目標】

T・P・Oを意識した生活をしよう

T：時（時間） P：場所 O：場面

津幡南中学校を良くしていく「みそあじ」！TPOの合言葉は「みそあじ」！

み・・・身だしなみを整える そ・・・掃除を一生懸命にする。（無言清掃） あ・・・あいさつを誰にでもどこでも じ・・・時間を守る

生徒総会で発見した「T・P・O」

生徒総会の最後の場面・・・

校長先生が「講評」を言うために、ステージ上に向かっていくその時に、指示があったわけではありませんが、生徒一人ひとりが、持っていたバインダーを、自席の下へ「そっ」と置く行動をとっていました。TPOの「O：場面に応じた行動」です。場面に応じた行動をとれる生徒が津幡南中学校にはたくさんいます。TPOの「質」を5月は高めていきましょう。



【令和6年度の生徒会スローガン】



Stay GOLD



一人ひとりの個性を大切に、輝き続ける。

「輝き続ける」ためには、どんなことが大切でしょうか？（どんなことをすればよいでしょうか？）

「〇〇し続ける」ためには、努力、忍耐力、我慢する力、粘り強さ、挑戦する力、あきらめない気持ち、などなど、いろいろな力が関係して、「〇〇し続ける」ことができます。いろいろな力を言い換えて表現すると、「輝き続ける」ためには、「自分を磨き続ける」ことが大切ですね。今年一年間の学校生活を通して、自分を磨いていこう。



★学習指導より★

《4月の学習強化期間を終えて》

4月の学習目標は「学習のルールを身に付けよう」でした。全学年が良い形で今年度のスタートをきれるよう、学習強化期間を設けました。今回の学習強化期間の重点項目は、「終始の挨拶」「返事」「授業準備」の3点でした。中学校に入学したばかりの1年生はもちろん、すでに津幡南中学校の学習のルールを身につけてきている2・3年生にとっても、授業への意識を高める良い機会になりました。取り組みは、終わってから継続できるかが重要です。お互いが気持ちよく学習に取り組めるよう、今後も意識し続けていきましょう。

＜生徒の振り返りコメントより＞

- ・今まで意識していなかった1日の1つ1つの授業がどうだったかを意識することができて良かった。（1年）
- ・新学期が始まったばかりだが、1つ1つの授業を集中して取り組むことができた。これからも頑張りたい。（2年）

【5月の学習目標】

時間のけじめをつけよう

重点項目

・早めの教室移動 ・授業のチャイムスタート ・家庭学習時間の確保

重点項目三つの中でも、特に家庭学習時間の確保に取り組みます。そのために、「三点固定」を実践していきましょう。「三点固定」とは右図のように、起床時間、就寝時間、学習開始時間の三つの時間を固定するという実践です。学習開始時間を決めることで、「もう少しテレビをみてから…」と学習を後回しにすることを防ぐことができます。また、起床時間と就寝時間を固定することで学習効率を維持することもできます。家庭学習を増やす取り組みとして、第2回学習強化期間を5月17日（金）～23日（木）で実施します。中間テストに向けて、学習時間を確保できるよう頑張ります。

三点固定

